

火おこし体験

[所要時間 約1～2時間]

…活動を行うにあたって…

火をおこす必要がなくなった現代の生活の中で、火おこし体験をすることにより、先人の生活の知恵と苦勞を体験し、火の大切さを学ぶことができます。

【活動の進め方】

手順説明
(センター職員)

- ・火おこしの説明
- ・安全面での諸注意

火をおこす

- 「火種の作製」
- ・火おこし器の軸にひもを巻きつけ、ヒキリ板のV字の溝にあてて横板を上下に振る
 - ・しばらく続けると、黒い粉がヒキリ板のV字の溝にたまり小さな火種ができる

「火種を発火」

《缶を使用》

- ・発火缶の中に麻ひもをほぐして入れておく
- ・火種を発火缶の中に移す
- ・缶のひもを持って振り回す

《新聞紙を使用》

- ・火種を新聞紙の上に乗せる
- ・口でゆっくり空気を送る

発火！！

終了

- ・火の後始末
- ・用具の回収、返却
- ・終了の報告

【活動場所】

あじさい広場・たけのこ広場

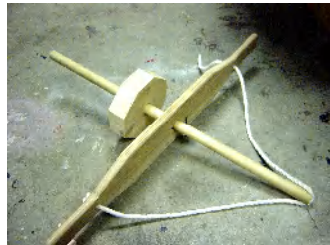
【準備する物】

利用団体

軍手・麻ひも・新聞紙・ヒキリ板・先端用棒（直径1.8cm×90cm）（10人につき1本）

センター

火おこし器・発火用空き缶・切り出しナイフ



【活動上の留意点】

- ・缶を振り回すときは、周りに誰もいないことを確認して行ってください。
 - ・新聞紙で発火させるときは風に注意してください。
- ※ヒキリ板は事前に作ってきていただく必要があります。
作り方については次のページに記載しています。

ヒキリ板の作り方

➤ (火起こし器の土台となる板のこと)

大きさの違う板を2枚用意する。下の図は目安となる大きさです

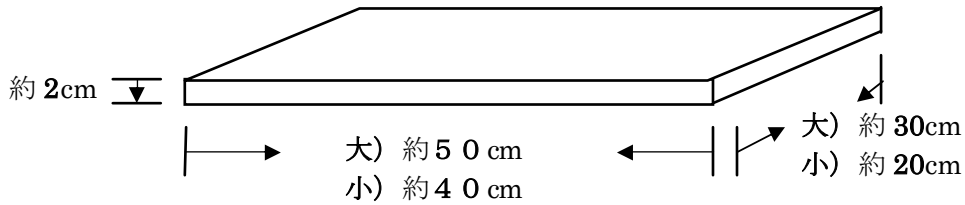
例：大) 縦:約30cm×横:約50cm×厚さ:約2cm

小) 縦:約20cm×横:約40cm×厚さ:約2cmの板を用意する

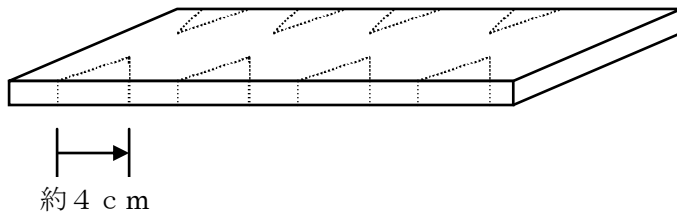
※ヒキリ板 (スギ・マツ・ヒノキなどの古材を使用する)



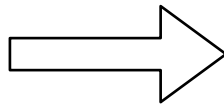
この部分を作ります。



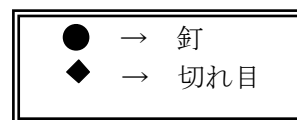
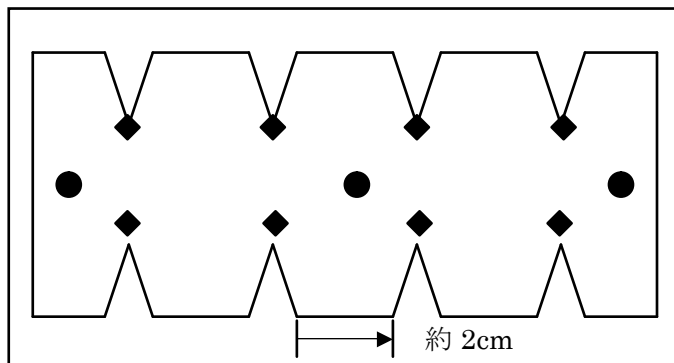
② 小さい方の板を下の図のようにのこぎりで三角に切り取る



③ 切り取った三角形の頂点の部分に彫刻刀などで切れ目を入れる



④ 加工していない板に釘で打ち付ける



※上から見た図

